

教育長報告（1）別添資料

## 平成30年度主要施策の成果について

新庄市教育委員会



歳入歳出決算状況

<歳入>

区 分	30年度見込	29年度決算	比 較
1 地方税	4,540,875	4,559,773	▲ 18,898
2 地方譲与税	119,939	118,821	1,118
3 利子割交付金	6,822	8,040	▲ 1,218
4 配当割交付金	8,217	10,531	▲ 2,314
5 株式等譲渡所得割交付金	7,325	10,731	▲ 3,406
6 地方消費税交付金	749,318	694,703	54,615
7 ゴルフ場利用税交付金	4,917	4,567	350
8 自動車取得税交付金	33,641	33,762	▲ 121
9 地方特例交付金	18,652	14,842	3,810
10 地方交付税	4,662,899	4,732,353	▲ 69,454
うち普通交付税	3,694,739	3,781,929	▲ 87,190
うち特別交付税	968,160	950,424	17,736
11 交通安全対策交付金	5,776	6,448	▲ 672
12 分担金及び負担金	149,820	143,679	6,141
13 使用料	190,656	187,856	2,800
14 手数料	76,875	75,428	1,447
15 国庫支出金	2,101,947	2,305,652	▲ 203,705
16 県支出金	1,344,989	1,540,784	▲ 195,815
17 財産収入	48,265	98,866	▲ 50,601
18 寄附金	772,720	741,723	30,997
19 繰入金	110,986	319,406	▲ 208,420
うち財政調整基金	0	143,000	▲ 143,000
20 繰越金	690,871	465,925	224,946
21 諸収入	1,091,678	661,854	429,824
22 地方債	973,876	1,054,020	▲ 80,144
うち建設事業債	427,100	516,100	▲ 89,000
うち減収補てん等債			0
うち臨時財政対策債	546,776	537,920	8,856
合 計	17,711,044	17,789,764	▲ 78,720

<歳出>

(単位:千円)

区 分	30年度見込	29年度決算	比 較
1 人件費	2,309,083	2,322,990	▲ 13,907
うち職員給	1,381,980	1,403,161	▲ 21,181
2 物件費	2,145,971	2,267,331	▲ 121,360
3 維持補修費	892,452	1,089,964	▲ 197,512
4 扶助費	3,425,014	3,415,006	10,008
5 補助費等	2,007,670	2,339,312	▲ 331,642
6 公債費	1,440,971	1,384,471	56,500
うち元金	1,315,773	1,240,401	75,372
うち利子	125,198	144,070	▲ 18,872
7 積立金	322,853	369,044	▲ 46,191
8 投資及び出資金	27,067	25,406	1,661
9 貸付金	949,504	494,037	455,467
10 繰出金	1,734,732	1,803,915	▲ 69,183
11 普通建設事業	1,305,010	1,587,417	▲ 282,407
うち補助事業	528,049	720,766	▲ 192,717
うち単独事業	659,747	770,662	▲ 110,915
うち県宮事業負担金	117,214	95,989	21,225
12 災害復旧事業費	141,821	0	141,821
合 計	16,702,148	17,098,893	▲ 396,745

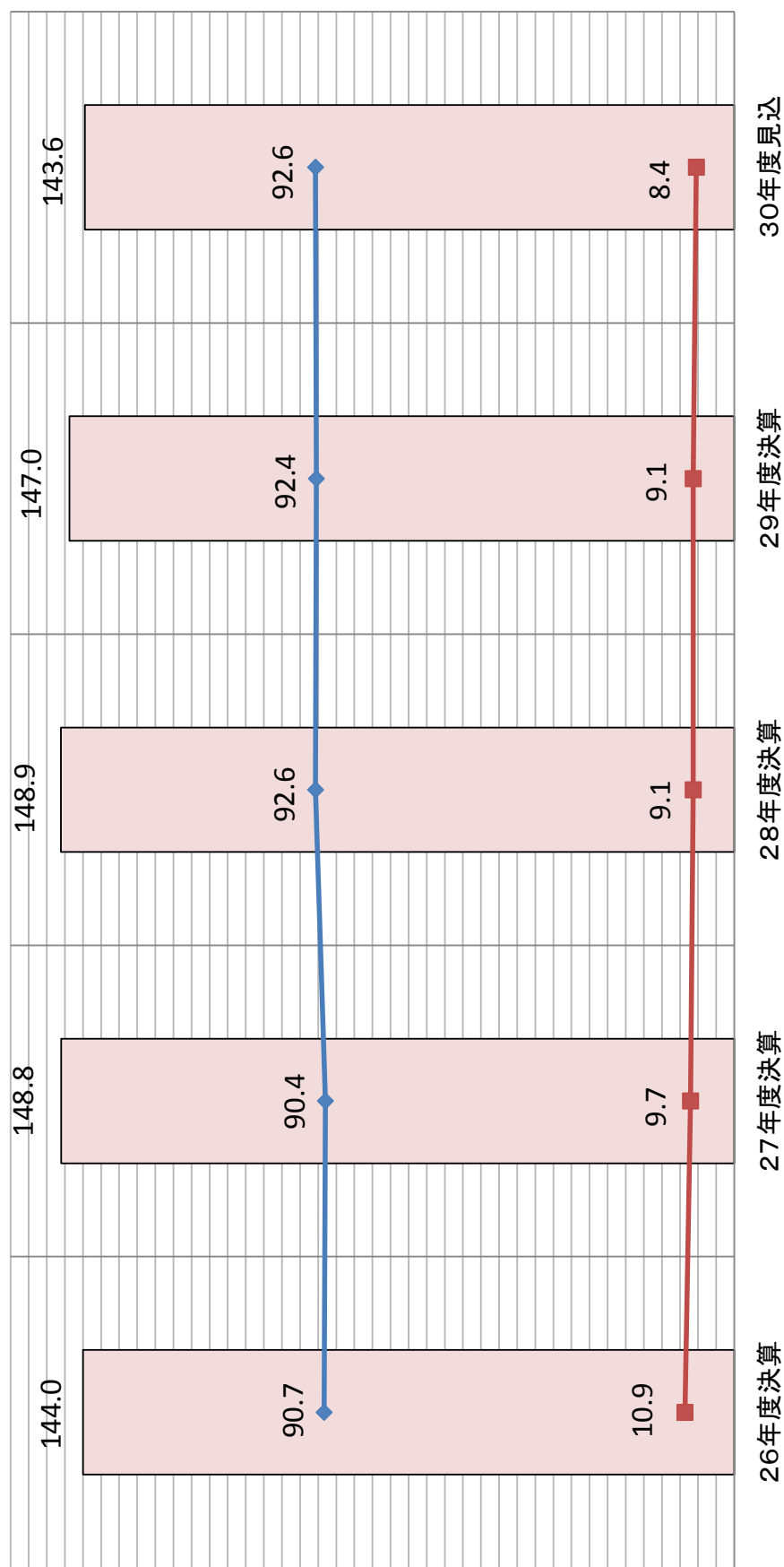
# 決算状況の推移

(単位:千円、%)

区分	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度見込
1 歳入総額	17,555,370	16,890,571	17,438,598	17,789,764	17,711,044
2 歳出総額	17,275,818	16,336,056	16,972,673	17,098,893	16,702,148
3 歳入歳出差引額	279,552	554,515	465,925	690,871	1,008,896
4 翌年度への繰越財源	6,349	3,621	6,971	3,063	78,733
5 実質収支	273,203	550,894	458,954	687,808	930,163
単年度収支	▲ 268,782	277,691	▲ 91,940	228,854	242,355
6 実質単年度収支	▲ 238,361	541,613	▲ 11,686	176,098	278,558
7 標準財政規模	9,501,804	9,530,727	9,475,985	9,460,954	9,464,990
8 基準財政需要額	7,754,842	7,847,574	7,867,634	7,810,905	7,756,764
9 基準財政収入額	3,827,854	3,987,365	4,025,092	4,022,814	4,088,954
10 財政力指数(3カ年)	47.6	49.3	50.5	51.3	51.8
11 経常収支比率(減収補てん+臨財償込)	90.7	90.4	92.6	92.4	92.6
12 健全化判断比率					
実質赤字比率	—	—	—	—	—
実質連結赤字比率	—	—	—	—	—
実質公債費比率(3ヶ年)	10.9	9.7	9.1	9.1	8.4
将来負担比率	74.4	57.9	38.4	37.5	26.9
13 債務負担行為額	1,315,402	1,010,568	538,126	271,603	218,053
14 積立金現在高	2,288,295	2,729,872	3,181,098	3,255,640	3,477,994
財政調整基金	1,775,196	2,039,118	2,119,372	2,066,615	2,102,819
減債基金	565	604	5,815	11,026	16,397
その他特定目的基金	512,534	690,150	1,055,911	1,177,999	1,358,778
15 地方債現在高	24,907,293	24,992,387	24,499,385	23,851,678	23,134,012
一般会計	14,396,859	14,883,206	14,886,908	14,700,527	14,358,630
下水道事業会計	7,573,539	7,431,670	7,202,253	7,008,440	6,899,770
農業集落排水事業会計	461,673	422,069	382,236	350,142	322,136
簡易水道事業会計	32,343	26,505	20,583	14,575	13,075
水道事業会計	2,442,879	2,228,937	2,007,405	1,777,994	1,540,401

## 財政指標の推移

地方債現在高(一般会計)(億円)
  経常収支比率(減収補てん+臨財償込)(%)
  実質公債費比率(3ヶ年)(%)



## 平成30年度の実質公債費比率

### ◆平成30年度の比率（単年度）

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 一般会計元利償還額 1,440,963千円             </div> <div style="text-align: center;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 ① 準元利償還額 435,546千円 (特別会計: 下水道等)             </div> <div style="text-align: center;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 ② 準元利償還額 112,430千円 (最上広域等)             </div> <div style="text-align: center;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 ③ 準元利償還額 53,040千円 (債務負担: 特老助成等)             </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 特定財源等 265,872千円             </div> <div style="text-align: center;">-</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 交付税算入額 1,213,927千円             </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 分子計 562,180千円             </div> <hr style="border: 1px solid black;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 標準財政規模 9,464,990千円             </div> <div style="text-align: center;">-</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                 交付税算入額 1,213,927千円             </div>
=		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                 分母計 8,251,063千円             </div>		
=		
<div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>6.8%</b> </div>		

### ◆平成30年度の比率（3カ年平均）

平成28年度 9.2%	+	平成29年度 9.4%
+	+	平成30年度 6.8%
=		
<div style="border: 2px solid yellow; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>8.4%</b> </div>		

### <実質公債費比率の算定方法>

実質公債費比率 = 一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率(3カ年平均・小数点以下第5位)

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{準元利償還金}(\ast)) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}}$$

#### (※) 準元利償還金の内容

- ① 一般会計から一般会計以外の特別会計への繰出金のうち公営企業債の償還に充てたと認められるもの  
(水道事業、公共下水道、農業集落排水、営農雑用水事業等)
- ② 一部事務組合への負担金補助金のうち、組合等が起した地方債の償還に充てたと認められるもの  
(最上広域市町村圏事務組合⇒交流センター(ゆめりあ)、エコプラザのみ、リサイクルプラザのみ等)
- ③ 債務負担行為に基づく支出のうち、公債費に準ずるもの  
(農業水利事業助成、特別養護老人ホーム助成)

総括表③ 実質公債費比率の状況(平成30年度決算)

		(単位：千円)									
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
元利償還額等(繰上償還額を除く)(3②A表「元利償還金」欄の数値を転記)	積立不足額を考慮して算定した額(3①表「エ」欄の数値を転記)	満期一括償還地方債の1年当りの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)(3①表「ウ」欄の数値を転記)	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てられるもの(3②表「合計※」欄の数値を転記)	一部事務組合等の起こした地方債に充てられる補助金又は負担金	公債費に要する債務負担行為に係るもの	一時借入金の子	特定財源の額(3③A表「特定財源計」欄の数値を転記)	事業費補正により基礎財政需要額に算入された公債費	災害復旧費等に係る基礎財政需要額	密度補正により基礎財政需要額に算入された元利償還金及び償還元金(3⑦に係るものは、地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに	
平成28年度	1,397,692		383,245	294,041	302,191		291,994	458,885	769,334	111,868	
平成29年度	1,384,465		475,307	196,430	259,055		305,496	380,882	745,152	111,455	
平成30年度	1,440,963		435,546	112,430	53,040		265,872	369,522	731,458	112,947	

		⑬			⑭			⑮		
		普通交付税額	臨時財政対策債発行可能額	地方財政法第5条の3第4項第1号の規定に基づき総務大臣が定める額(特別区のみ記入)	地方財政法第5条の3第4項第1号の規定に基づき総務大臣が定める額(特別区のみ記入)	実質公債費比率(単年度)	実質公債費比率(単年度)	実質公債費比率(3カ年平均)		
平成28年度	5,129,584	3,839,172	507,229			9.15803				
平成29年度	5,141,105	3,781,929	537,920			9.99108				
平成30年度	5,223,475	3,694,739	546,776			6.81343				
					実質公債費比率(3カ年平均)			8.4		

(参考)

		⑯の内訳		
		PF1事業に係る債務負担行為に係るもの(省令第7条第1号)	国・道・市町村が協定し、並びに、利便施設及び公共施設を買い取るために行った債務負担行為に係るもの(省令第7条第2号)	国・道・市町村が協定し、並びに、利便施設及び公共施設を買い取るために行った債務負担行為に係るもの(省令第7条第3号)
平成28年度			197,181	27,016
平成29年度			197,181	26,806
平成30年度				26,598

# 教 育 費

## 教育総務課

### 1 学校図書館図書整備事業

学習指導要領が示す「言語に関する能力の育成」を目指し、子どもたちの読書への意欲向上のため、継続して学校図書館の図書の整備を行った。

○図書整備費 小学校 2,563,961 円、中学校 2,450,000 円、義務教育学校 986,000 円

	平成 29 年度			平成 30 年度				
	年度末蔵書冊数	図書基準冊数	蔵書基準達成率	年度中整備冊数(寄贈等含)	年度中廃棄冊数	年度末蔵書冊数	図書基準冊数	蔵書基準達成率
小学校	71,691	54,400	131.78%	3,176	387	74,480	54,400	136.91%
中学校	38,361	45,760	83.83%	2,383	440	40,304	45,760	88.08%
合計	110,052	100,160	109.88%	5,559	827	114,784	100,160	114.60%

※義務教育学校分の図書基準冊数については、義務教育学校の前期課程を小学校の基準で、後期課程を中学校の基準で計上している。

<成果> 地域コーディネーターとの連携及び蔵書冊数の増加によって、学校図書館の環境が充実した。また、学校図書館蔵書管理ネットワークシステムにより、蔵書管理の円滑化と利便性が向上した。

### 2 学校教材整備事業

#### (1) 学校教材備品整備事業

学習指導要領を受けて、市内小・中・義務教育学校で必要な備品に優先順位を付け、計画的に教材用備品の整備を行った。

○整備金額 小学校 2,868,612 円 中学校 1,941,990 円 義務教育学校 928,000 円

<成果> 時代のニーズに合った教材用備品の整備により学習環境の充実が図られ、児童・生徒の学習意欲の向上に寄与した。

#### (2) 学校理科教材整備事業

学習指導要領を受けて、理科教育用備品を計画的に整備し、理科教育の振興と充実のため、学習環境の継続的な拡充を行った。平成 30 年度は、小学校 2 校、中学校 1 校で理科教育用備品を整備した。

○整備金額 1,008,440 円 (内、国庫補助金 504,000 円)

<成果> 理科教育に効果的な備品を中心に整備したことで、理科における学習環境が充実した。

### 3 情報教育推進事業

学校教育における情報教育の充実を図るため、時代のニーズに沿った ICT 環境の整備を行った。

<主な事業費>

○学校教育用 ICT 関連機器メンテナンス業務委託料 3,920,400 円

○教育用コンピューター借上料 (PC 教室等への児童・生徒用パソコン配備)

小学校 12,505,344 円 中学校 9,663,216 円 義務教育学校 3,166,944 円



○校務用コンピューター借上料 (職員室等への教職員用パソコン配備)

小学校 5,447,196 円 中学校 4,096,656 円 義務教育学校 1,890,756 円

<成果> 各学校における適正なコンピューター配備と、ICT 機器関連のメンテナンスにより、情報教育環境等の維持管理ができた。

#### 4 学校施設整備・管理事業

老朽危険施設の改修・修繕を推進するとともに、周辺の環境整備を行い、地域の憩いの場として利用される施設整備を行った。また、近年の異常気象による猛暑から、児童生徒の安全・安心な学校生活を守るため、市内小・中・義務教育学校全校への空調設備導入に係る実施設計業務を実施した。

(工 事)

	工 事 名	請 負 額
中 学 校	日新中学校大規模改修工事の内 体育館改修工事	72,772,560 円
	八向中学校体育館等屋根塗装工事	5,668,920 円
	計	78,441,480 円

(修 繕)

	修 繕 名	請 負 額
小 学 校	新庄小学校受水槽交換修繕	5,994,000 円
	日新小学校給水フレッシュャーポンプ修繕	2,106,000 円
	北辰小学校相撲場修繕	317,520 円
	沼田小学校漏水修繕	365,040 円
	本合海小学校避雷針交換修繕	241,920 円
	升形小学校階段改修修繕	589,680 円
	その他修繕 81 件	10,429,966 円
	計	20,044,126 円
中 学 校	新庄市立明倫中学校舗装修繕	268,920 円
	八向中学校貯水槽塗裝修繕	367,200 円
	新庄中学校高圧カットアウトスイッチ交換修繕	302,400 円
	日新中学校メーター器交換用止水栓等設置修繕	460,080 円
	その他修繕 40 件	3,969,224 円
	計	5,367,824 円
義 務 教 育 学 校	萩野学園引込配線改修修繕	542,160 円
	萩野学園多目的室網戸設置修繕	205,200 円
	その他修繕 2 件	125,280 円
	計	872,640 円

(備品)

	備品名	購入額
小学校	沼田小学校教室児童用机 100 卓・椅子 55 脚	1,053,000 円
	日新小学校教室児童用机・椅子 110 組	1,425,600 円
	沼田小学校エンジン噴霧器	29,160 円
	新庄小学校高圧洗浄機	34,560 円
	日新小学校スポーツマット	41,472 円
	本合海小学校アルミ三脚	40,608 円
	その他備品 13 件	364,694 円
	計	2,989,094 円
中学校	新庄中学校教室生徒用机・椅子 80 組	1,051,303 円
	日新中学校教室生徒用机・椅子 60 組	788,477 円
	明倫中学校エンジンプロア	27,000 円
	八向中学校リハビリテーブル	68,904 円
	その他備品 10 件	386,504 円
	計	2,322,188 円
義務教育学校	萩野学園ブルーバーナー	53,244 円
	その他備品 2 件	60,858 円
	計	114,102 円

(業務委託)

○新庄市立学校空調設備設置工事実施設計業務委託料

小学校 3,161,160 円 中学校 1,691,280 円 義務教育学校 979,560 円

<成果> 学校施設の保守点検を行い、施設・設備の異常や危険箇所の修繕・改修を行ったほか、大規模な工事を伴うものは、年次計画によって計画的に改修を行うとともに、空調設備設置工事の実施設計を実施し、空調設備設置に向けた準備を行った。これらの事業により、安全安心な学校整備・管理につなげることができた。

## 5 義務教育学校建設事業

明倫学区義務教育学校は沼田小・北辰小・明倫中を統合し、小中一貫教育の推進に最も効果的と評価される施設一体型義務教育学校を、地域の意向を尊重しながら、地域に根ざした学校として、令和3年4月の開校を目指し整備を行う。

(業務委託)

○明倫学区義務教育学校実施設計業務委託料 116,712,360 円

○明倫学区義務教育学校敷地現況測量業務委託料 4,320,000 円

<成果> 実施設計が完了し、工事を発注する準備ができた。

## 6 安全安心通学プラン推進事業

### (1) 通学路安全対策

各小学校で抽出した通学路の危険箇所について、安全な通学手段の確保方法を関係機関と連携して改善を図るとともに、通学路の点検や危険箇所の把握に務め、防犯・交通安全対策を行った。

○通学路の緊急合同総点検実施箇所・・・5箇所

○安全対策の実施済箇所・・・道路管理者が実施 ⇒ 5箇所、警察署が実施 ⇒ 5箇所  
学校が実施 ⇒ 5箇所

<成果> 安全安心通学プランに沿って緊急に対応が必要な箇所を改善したことにより、通学路の安全性が向上した。

## (2) 通学手段確保対策

冬期間、路線バスを利用する児童・生徒の保護者に対して、月額 1,000 円を超える負担額に対し補助を実施した。

○保護者（世帯）の申請件数 33 件

○通学手段確保対策事業費補助金 258,316 円

<成果> 冬期間、路線バスを利用する児童・生徒の保護者負担が大きく軽減され、安全・安心な通学環境を向上させることができた。

## 7 奨学支援事業

将来の担い手となる若者の回帰定着等を促進し、不足する人材を確保するため、次の事業を行った。

### (1) ふるさと創生人材確保事業

人材が不足する理工及び保育系の学生へ支援を行うため、最上育英会に負担金を支出して月額 4 万円の奨学金を貸与する。学校卒業後 6 ヶ月以内に市内の事業所等へ就職した場合は、奨学金の返還が半額免除となる。

○最上育英会への負担金 17 名分 8,160,000 円

<成果> 市への定着を促すことで、地域を支える人材の育成と確保につなげることができた。

### (2) 山形県若者定着奨学金返還支援事業

山形県と連携し、若者の回帰・定着を促進し、地域のリーダー的人材を確保するため、日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けている学生を対象として、奨学金返還に係る支援を行う基金（県・市町村共同で積立）に出捐した。

○山形県若者定着支援基金出捐金 7 名分 3,276,000 円  
(累計額 19 名分 8,538,000 円)

<成果> 本市の将来を担う若者に、学習の機会を充実させ、本市への回帰定着の機運及び将来設計を醸成することができた。

### (3) 新庄市看護師等修学資金貸与事業

最上地域における看護師等の確保を目的として、郡内 8 市町村と最上広域市町村圏事務組合が協定して平成 29 年度から運営している看護師育成最上地域修学資金制度に対応して、市出身の看護学生等の修学に必要な資金の貸し付けを行う。就業後 10 年以内に 5 年間、最上地域の医療機関等に勤務することで返還免除となる。

○平成 30 年度採用修学生 1 名（月額 5 万円貸与）

○平成 30 年度貸付金 3 名分 1,800,000 円

<成果> 将来市内での就業を希望する看護学生の修学を支援することで、看護師等の育成と確保が期待される。

# 学校教育課

## 1 平成 30 年度児童生徒の在籍状況 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

各学校の児童生徒数を把握し、関係諸法に基づき、適正な学級編制並びに教職員配置を行った。

区 分	学校数	学級数	児童生徒数	教職員数	備 考
小 学 校	6 校	74 学級	1,477 名	132 名	教員・養教・事務・栄養・市職他
中 学 校	4 校	39 学級	835 名	93 名	教員・養教・事務・市職他
義務教育学校	1 校	21 学級	382 名	49 名	教員・養教・事務・栄養・市職他
合 計	11 校	134 学級	2,694 名	274 名	※学校基本調査

<成果> 正確な状況把握により、各学校における教育の機会均等及び義務教育水準の維持向上につながった。

## 2 学校経営指導事業

教育基本法の趣旨にのっとり、各学校における組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導などについて、経営上の課題を把握しながら諸会議や学校訪問を通して指導を行った。

○訪問回数 52 回 (教育委員会訪問 6 回・教育長訪問 33 回・指導主事訪問 13 回)

<成果> 各学校を訪問し、学校経営の改善、授業改善への指導・助言を行ったことで、学校の活性化及び教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育の振興につながった。

## 3 児童生徒及び教職員の健康管理 (疾病の早期発見と予防)

学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法等に基づき、各学校における保健管理及び安全管理として、児童生徒健康診断及び教職員健康診断、ストレスチェックを実施した。

○児童生徒健康診断実施期間：4 月～6 月

(1) 内科検診 (2) 眼科検診 (3) 歯科検診 (4) 耳鼻科検診 (5) 結核検診  
(6) 心電図検査 (7) 尿検査 (8) 貧血検査

○教職員健康診断、ストレスチェック実施日：7 月 30 日、8 月 9 日

<成果> 児童生徒並びに教職員の健康の保持増進と学校保健を積極的に推進したことで、学校教育が円滑に行われた。また、教職員ストレスチェックを行い、各自が自己のストレスを認知することで、精神面における健康管理を行うことができた。

## 4 就学時健康診断の実施

学校保健安全法の趣旨に基づき、来年度の就学児を対象に下記の健康診断等を実施した。

○(1) 内科検診 (2) 眼科検診 (3) 歯科検診 (4) 視力検査 (5) 聴力検査  
(6) ことばの検査 (7) 知能検査 (8) 教育相談

○会場 4 箇所 (日新小 9/20、沼田小 8/30、新庄小 9/13、萩野学園 9/18)

<成果> 就学児の健康状態等を把握することで、新年度における指導が円滑に行われた。

## 5 補助金等の交付状況

### (1) 各種大会出場奨励事業

児童生徒が個人又は団体として、県大会を勝ち進んで東北大会以上の大会に出場する場合には、各学校からの申請をもとに出場奨励費を支給した。

○交付額	小学校【東北大会】	11 個人	2 団体	162,117 円
	【全国大会】	12 個人	2 団体	844,906 円
	中学校【東北大会】	12 個人	8 団体	1,025,178 円
	【全国大会】	16 個人	2 団体	1,279,671 円
	義務教育学校【東北大会】	1 個人	2 団体	22,450 円
	【全国大会】	5 個人	2 団体	459,601 円

<成果> 出場奨励費を支給することで、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興につなげ、大会に参加する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。

(2) 就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費交付事業

生活保護世帯、生活保護に準ずる世帯、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者及び被災児童生徒の保護者に対し、教育に要する経費の一部を補助した。

○交付先 要保護及び準要保護児童生徒の保護者と特別支援学級在籍児童生徒の保護者  
東日本大震災被災児童生徒の保護者

○交付額 25,954,533 円

	就学援助費目(支給人数)	実支給額	国庫・県補助金
小学校	要保護及び準要保護児童援助費(129人)	9,875,814 円	
	被災者分就学援助費(2人)	158,375 円	被災児童就学支援特例交付金 154,650 円
	特別支援教育就学奨励費(29人)	1,022,504 円	特別支援教育就学奨励費 511,000 円
中学校	要保護及び準要保護生徒援助費(95人)	11,873,292 円	
	被災者分就学援助費(3人)	358,565 円	被災生徒就学支援特例交付金 311,165 円
	特別支援教育就学奨励費(9人)	554,060 円	特別支援教育就学奨励 277,000 円
育義 学務 学校教	準要保護児童生徒援助費(20人)	1,813,333 円	
	特別支援教育就学奨励費(7人)	298,590 円	特別支援教育就学奨励費 149,000 円

※国庫・県補助金は実支給に対する財源となる。

<成果> 生活保護世帯等の経済的に困窮する保護者に、教育に要する経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と児童生徒の精神的負担の緩和を図ることができ、より良い就学環境が整えられた。また本年度より「入学準備学用品費」を費目追加し、中学校入学前に支給することで、入学準備にかかる経済的負担をより軽減した。

## 6 小中・義務教育学校給食管理運営事業

安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食の安定供給に努めた。

(1) 栄養教諭を核とした食育の推進

献立検討会を通して食育の推進に向けた情報提供等を行った。

○推進体制 栄養教諭3名 学校栄養士2名 調理師等37名(直営6名、委託31名)

(2) 地産地消による学校給食の充実

市農林課と連携し、地場産作物や最上伝承野菜を活用した学校給食の提供を行った。

○給食に提供した主な地場産作物

大根 3,262k g 白菜 1,610k g ねぎ 1,947k g かぼちゃ 803k g 畑なす 352k g  
にら 210k g 里芋 369k g 最上かぶ 161k g ほうれん草 552k g みず 141k g  
しめじ 966k g なめこ 516k g さくらんぼ 60k g 等

(3) 学校給食調理師研修会の開催

学校給食従事者の衛生管理に対する意識を高め、事故発生を未然に防止するため研修会を開催した。また、同日に地元食材への理解を深めるため、現地視察を実施した。

○研修日 7月30日(月)

○内容 最上保健所職員による講話：参加者24名、市内大豆加工工場、地場産農産物畑の視察：参加者11名

(4) 衛生管理の実施

○検便(赤痢菌・サルモネラ・大腸菌) 月2回実施

○ノロウイルス検便 月1回実施(10月～3月)

<成果> 安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供すると共に、最上伝承野菜や地場産農産物を給食に取り入れることで、食育や地産地消を推進することができた。また、学校給食従事者に対する研修を行い、衛生管理に対する意識を高めることができた。

## 7 小中一貫教育推進事業

(1) 小中一貫教育推進事業

○各中学校区における授業交流や児童会・生徒会の交流

○定期的な小中一貫教育コーディネーター研修会の開催

○小中一貫教育シンポジウム

「新庄市教育の日コスモスデー記念行事における、児童生徒による日新中学校区の小中一貫教育についての発表」

<成果> 義務教育学校「萩野学園」はもちろんのこと、市内各中学校区における小小交流、小中交流、小中の教職員の交流等を通して、地域に根ざした特色ある小中一貫教育を進めることができた。

(2) 明倫学区小中一貫教育推進事業

○明倫学区義務教育学校推進計画の策定

<成果> これまでの明倫学区の小中一貫教育の実践を基にしながら、令和3年4月開校を目指す明倫学区義務教育学校推進計画の策定に向け、策定委員会4回、各検討部会11回を開催し協議を重ねた。本年度は新たな学校の校名5点を選定し教育委員会に提案した。3月の市議会の議決を経て『明倫学園』に決定した。

## 8 教育の日推進事業

新庄市教育の日及びコスモス教育週間を設定し、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりの推進に取り組んだ。

○新庄市教育の日及びコスモス教育週間(文化の日11/3前後2週間)の周知

平成30年10月20日(土)～11月17日(土)

### ○記念行事の開催

平成 30 年 11 月 10 日（土）市民プラザ

（市内幼稚園、小・中・義務教育学校、高等学校、地域団体によるステージ発表、体験参加型ブース展開）

委託料 230,000 円

### ○コスモス教育週間の推進（期間中における文化的な学校行事の集中的な実施）

<成果> 各教育機関における児童生徒の学習の成果や取り組みを、ステージ発表や活動写真展示等で発信したり、地域団体や高校生による体験参加型のブース展開をしたりすることで子どもの活躍する姿を伝え、市民の教育に対する意識を高めることにつながった。

## 9 学校のつばさ支援事業

各学校が地域と連携しながら、児童生徒の実態や地域の特性に応じた特色ある学校づくりを計画的かつ柔軟に推進するとともに、自主的で創造的な取り組みを実践した。

### ○推進体制

中学校区ごとに「特色ある学校づくり推進委員会」を設立し、目的に応じた事業を展開した。

新庄中学校区	新庄中、新庄小	委託料	752,000 円
明倫中学校区	明倫中、沼田小、北辰小	〃	976,000 円
日新中学校区	日新中、日新小	〃	1,197,000 円
八向中学校区	八向中、本合海小、升形小	〃	664,000 円
萩野学園	萩野学園前期（小学）・後期（中学）	〃	546,000 円

<成果> 児童生徒が地域について学び、地域と関わる機会が増え、学校に活力が増した。事業を通し各学校において地域に根ざした特色ある教育活動の具現化を進めることができた。

## 10 特別支援教育及び就学指導推進事業

障がいをもつ幼児・児童生徒が能力・適性にあった望ましい教育が受けられるように、障がいの程度に応じた適切な判断と就学指導及び支援を行った。

### ○推進体制 教育支援委員会 22 名（医師、小中学校の教職員、福祉関係者等）

年 3 回実施（6 月、7 月、10 月）

在学児童生徒及び就学時の適正就学に向けた相談・判断

<成果> 巡回相談を行い、障がいをもつ幼児・児童生徒の教育的なニーズを把握し、生活や学習の困難を改善又は克服するための指導や支援を行ったことで適正就学に結びつけることができた。

## 11 不登校適応教室等指導事業

不登校傾向及び不登校である児童生徒に対し、適応指導教室における週 3 回（月・水・金）の学習支援や月 2 回程度の体験活動（ものづくり、栽培・販売、キャリア学習等）、また、学校へ訪問しての学習支援や相談活動、関係機関との連絡会への参加、親の会「気楽に話し合う会」の開催や電話相談など、個々に応じた必要な支援を行った。

### ○推進体制 教育相談員 3 名 教科指導員 3 名

<成果> 不登校傾向の児童生徒はもちろんのこと、その保護者を含めた相談活動を積極的に行い、学校と連携しながら、学校生活の適応につながるような支援を行うことができた。

## 12 山大エリアキャンパスもがみ運営事業（教育実習生受入れ関連）

学校における教育活動や地域の活性化を目的に、山形大学との連携のもと、教育実習の大学生の受け入れを行った。

○教育実習生の受入人数 22人

○教育実習生受け入れ先 新庄小、沼田小、日新小、北辰小、本合海小、升形小  
新庄中、明倫中、日新中、萩野学園

<成果> 教育実習生を受け入れることで、指導する教員は自分の指導を見つめなおす機会となり、また、学生においては、本市ならではの小中一貫教育や地域と密着した教育活動などを学ぶことができた。

## 13 学校支援地域本部事業

各学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校と地域の連携体制を構築するため、学校支援地域本部事業費補助金を活用し、地域コーディネーターを配置した。

○推進体制 小中学校、萩野学園 地域コーディネーター11名（各学校1名）

<成果> 学校図書館に常時職員がいることにより、図書館の機能強化や読書好きな児童生徒を増やすことができ、学力の向上と学校教育全般を充実させることができた。また、学校支援ボランティアの窓口として学校と地域の連携に寄与し、学校教育の充実に役立った。

## 14 国際理解教育推進事業

学校において英語により親しみ、異文化交流やコミュニケーション能力の育成を日常的にできることを目的に4名のALTを配置した。

○ALTの学校派遣日数累計 814日

<成果> 児童生徒が外国語に触れ、外国の生活や文化に慣れ親しむ活動が充実し、小学校外国語の教科化に向けての体制を整えることができた。

## 15 教育研究所事業

教員の資質向上及び教育実践の活性化を目指し、教育の充実に関する調査・研究、教員研修等の各実践研究を進めた。

○学校経営研修、学校運営研修、教務主任研修の実施

○授業づくり研究委員会、生徒指導主任主事会、課題別研修会の開催

○ICT機器調査委員会、社会科指導資料作成委員会、所報編集委員会、学力向上委員会の開催

<成果> 学力向上に関する委員会を新設するとともに、新学習指導要領への対応等、喫緊の教育課題に対する研修を、外部講師を招聘しながら年間を通して計画的に開催したことで、教員の資質向上及び教育実践の充実と教育課題を解決することに役立った。

## 16 標準学力検査実施事業

義務教育期間の各段階において、学習内容の定着を確認するために、標準学力検査（NRT）と知能検査を実施した。

○学力検査

小学校2・3年生 2教科（国語・算数）

4～6年生 4教科（国語・算数・社会・理科）

中学校 1年生 4教科（国語・数学・社会・理科）



2・3年生 5教科(国語・数学・社会・理科・英語)

○知能検査 小学校2・4・6年生 中学校 2年生

<成果> 客観的な尺度を用いた学力の定着を確認し、課題の分析をすることで授業の改善につなげることができた。

## 17 児童生徒の個別支援事業

発達障がい等により、学校での学習に遅れがちな児童生徒を支援するため、必要とする各学校に個別学習指導員を配置した。また、新たに3名の特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級における支援を強化した。

○推進体制

個別学習指導員 20名

新庄小：4人 沼田小：3人 日新小：5人 北辰小：1人 升形小：1人

新庄中：1人 明倫中：1人 日新中：1人 萩野学園：3人

○特別支援教育支援員 3名

新庄小：1人 沼田小：1人 日新小：1人

<成果> 学校教育活動に参画し、発達障がい等により学習に遅れがちな児童生徒の学習活動の支援を行うとともに、教員との協力的指導を行うことで、当該児童生徒を含む個々の学習と学級全体の活動を充実させた。

## 18 山形県教職員働き方改革推進事業

教職員の多忙化の要因の一つとなっている中学校の部活動指導において担当教職員の負担を軽減させるため、市内中学校3校に部活動指導員を配置した。

○推進体制 部活動指導員 3名 新庄中：1人 明倫中：1人 日新中：1人

<成果> 部活動指導員の配置により、部活動を担当している教員が保護者面談や進路指導など部活動以外の時間を確保することができた。

# 社会教育課

## 1 社会教育委員会議の開催

5月30日(水) 9月28日(金) 2月25日(月) 3回開催

<成果> 市が実施する社会教育事業について、有識ある委員から意見を頂くとともに、市の社会教育の方向性などについて助言を頂き、次年度事業につなげることができた。

## 2 新庄市成人式の開催

○8月14日(火) 午後2時～ 市民文化会館大ホール

○対象者 403人(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ)

○参加者 男162人 女137人 計299人(参加率74.19%)

<成果> 成人式の開催により成人としての自覚を促すとともに、ふるさとへの意識を再確認する機会を提供することができた。

## 3 学校・家庭・地域の連携協働推進

### (1) 新庄市放課後子ども教室

○萩野地区公民館 5月～2月(月・金開催) 57日間 参加者 萩野学園児童延べ2,423人

○本合海小学校 5月～2月(月2回程度開催) 18日間 参加者 本合海小児童延べ 238人

### (2) 家庭教育の充実

○やまがた子育て講座(山形県家庭教育推進事業 国1/3・県1/3補助)

小学校、中学校、義務教育学校にて保護者等を対象に講演会を3回開催。参加者150人

○幼児共育ふれあい広場(山形県家庭教育推進事業 国1/3・県1/3補助)

保育所等7箇所幼児・保護者等を対象にふれあい体験講座を開催。参加者580人

<成果> 地域の小学生の放課後等の居場所作りを提供するとともに、家庭教育力向上のため学校や保育所などの希望に応じた講師を選定し、家庭教育について考える機会を提供できた。

## 4 青少年健全育成事業

### (1) 高萩市・新庄市児童交流事業(新庄市青少年育成市民会議事業)

○高萩ジャンボリー(高萩市へ訪問)

7月28日(土)～29日(日)

新庄市小学5・6年生34人 高校生ボランティア16人 中学生ボランティア3人

青年ボランティア1人 指導者・事務局10人参加

○萩っ子歴史探険隊(高萩市の児童を新庄市へ受入れ)

8月24日(金)～26日(日)

高萩市小学6年生34人 高校生13人 関係者15人参加

### (2) 新庄市子ども芸術学校

○4部門各7～29回開催(延べ94回) 参加登録児童80人

### (3) 家庭教育相談の日

○毎月1回 開催数12回 わらすこ広場

<成果> 青少年向けの各種事業を開催することにより、青少年健全育成の一助となった。加えて、

指導者たる地域住民と青少年との世代間交流を行うことができた。

## 5 男女共同参画社会推進事業

男女共同参画周知啓蒙活動として研修会・フォーラム等を広報に掲載し広く周知した。

<成果> 市民の意識向上を図ることで、新庄市男女共同参画計画を推進することができた。

## 6 地域公民館整備助成事業

市内の町内・集落等が社会教育活動を推進するため、地域公民館を新築・増築・改修、又は既設建物を取得もしくは敷地を購入するための補助を行った。

○地域公民館整備助成件数 7件 助成額971,439円

<成果> 地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、敷地購入及び改修などへの補助を行うことにより、地域における活動を推進することができた。

## 7 生涯学習施設の管理運営

### (1) 指定管理者制度活用施設

○市民プラザ（市民活動交流ひろば事業含む） 市立図書館 市民文化会館 雪の里情報館  
わくわく新庄

### (2) 利用料金制を導入した施設

○市民プラザ 市民文化会館 雪の里情報館 わくわく新庄

## 市民プラザ

### (1) 施設管理

○指定管理者制度の活用

受託者：NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄（平成28年4月1日～令和3年3月31日）

指定管理料 36,143,000円

○利用状況

利用者数 104,243人（前年度 106,499人 2,256人減）

利用料金 9,062,490円（前年度 10,321,020円 1,258,530円減）

○施設整備

修繕料 1,745,280円

吸収冷温水発生機水室仕切押え修繕、地下駐車場雨水ポンプ交換修繕、非常用照明交換修繕等

○生涯学習センター運営審議会の開催

5月16日（水） 会場：わくわく新庄 出席委員8人

### (2) 各種事業の開催

○指定管理者提案事業

プラザ陶芸工房 全8回	6月24日（日） ～2月3日（日）	参加者延べ154人
料理教室 全9回	5月26日（土） ～3月23日（土）	参加者延べ190人
園芸講座 全5回	6月2日（土） ～12月2日（日）	参加者延べ144人

夏休み！プラザの体験教室	8月1日(水) ～3日(金)	参加者延べ260人
開館30周年記念事業	9月9日(日)	入場者450人
市民プラザ名画座	9月16日(日)	入場者455人
キッズフェスタ	9月30日(日)	来場者約1,700人 協力団体6団体20人 ボランティア26人 出展関係者18人 出演関係者31人
生涯学習講座 「終活セミナー」全3回	12月14日(金) ～1月18日(金)	参加者延べ52人

○市からの委託事業

日本語教室 初・中級コース 25回	4月～11月	受講生11人 延べ167人
県美展・子ども県展 新庄巡回展	10月31日(水)～ 11月5日(月)	美術品565点 鑑賞者2,007人 (一般771人、小中高生1,079人、幼児等157人)

○継続事業

月釜	4月～11月 全7回	茶道グループによる茶会 参加者延べ739人
ふれあい市民ギャラリー	4月～3月	幼児から一般まで幅広い作品を展示 年11回 11団体 約2,000人
市民プラザまつり	発表：3月10日(日) 展示：3月6日(水) ～10日(日)	まつり全体の延べ参加者約1,640人 発表部門：参加団体24、参加者約250人 展示部門：参加団体18、参加者約230人 その他部門：参加団体5、参加者約60人 展示期間鑑賞者700人 ステージ発表鑑賞者400人

(3) 市民活動交流ひろば事業

○利用状況

各種機器利用料金 1,119,020円 (前年度 1,133,960円 14,940円減)

機器利用、相談等来室者数 1,664人 (前年度 1,572人 92人増)

図書館

(1) 施設管理

○指定管理者制度の活用

受託者：一般社団法人とらいあ (平成28年4月1日～令和3年3月31日)

指定管理料 42,158,000円

○利用状況

来館者数 86,933人 (前年度 86,133人 800人増)

貸出人数 28,275人 (うち児童 3,974人)

(前年度 28,565人 うち児童 4,119人 290人減)

貸出冊数 140,022 冊（うち児童書 63,882 冊）

（前年度 139,260 冊 うち児童書 63,494 冊 762 冊増）

○受け入れ冊数 購入 1,927 冊（図書購入費 3,000,029 円） 寄贈 1,035 冊

○蔵書冊数 145,802 冊

（一般書 99,564 冊、郷土資料 14,682 冊、児童書 29,154 冊、雑誌 2,402 冊）

○施設整備

修繕料 5,914,728 円

図書館閉架書庫ハロン消火剤更新修繕、誘導灯交換修繕、自動ドア修繕、非常照明器具交換修繕等

○図書館協議会の開催 5月15日（火） 出席委員4人

## (2) 各種事業の開催

えほんぱーく	絵本の読み聞かせ 年16回 参加者195人
おはなし会	年6回 参加人数24人 協力ボランティア14人
ハローブック ブックスタート	2歳児対象の歯科検診時に読み聞かせと図書館の紹介と貸し出しを毎月1回実施。4カ月健診で2冊の絵本をプレゼント。 4カ月健診233組 2歳児歯科検診228人
公民館配本	毎回630冊を選書、配本と図書の入れ替え（年3回） 貸出冊数 萩野地区公民館288冊 わくわく新庄322冊 八向地区公民館20冊
移動図書館	移動図書館車にて、各施設での貸出返却を実施 保育所など（月1回）5,369冊 小学校（月1回）4,441冊 神室荘（月1回）1,136冊 学童保育所（月1回）1,786冊
出前図書館 （施設連携事業）	わらすこ広場、保健センター、わくわく新庄 6回 113冊貸出 エコロジーガーデン 6回 88冊貸出
図書館ボランティア推進	フロア、図書修理整理、施設見回り、事業サポーター等 協力者延べ495人
子どもフェスタ （子ども読書週イベント）	5月5日（土・祝） あおぞらキッズ古本市76人、ライブラリーシアター14人 入館者360人
学習資料相談会	小学生を対象とした夏休みの宿題・課題等の勉強相談会 7月27日（金）～7月28日（土） 参加児童150人 協力ボランティア40人
図書館☆夏フェス	8月7日（火） 参加者72人 協力ボランティア18人
図書館施設利活用促進	DVD上映会 9月・12月 参加者50名 お正月福袋貸出
図書館まつり	リサイクルフェア・各団体イベント事業 10月27日（土）～10月28日（日） 入館者850人
第55回 読書感想文コンクール	市内小・中・高校生から募集、審査。 応募作品140点 12月1日（土）表彰式 2月入選作品集発行

## 市民文化会館

### (1) 施設管理

○指定管理者制度の活用

受託者：NPO 法人芸術文化振興市民ネット新庄（平成27年4月1日～令和2年3月31日）

指定管理料 41,958,000 円

○利用状況

利用者数 85,426 人（前年度 89,658 人 4,232 人減）

利用料金 8,832,680 円（前年度 9,241,760 円 409,080 円減）

○施設整備

修繕料 4,653,892 円

客席ゴム交換修繕、大ホールトイレ洋式化等修繕、消防設備修繕等

○市民文化会館運営協議会の開催 5月11日（金） 出席委員5人

(2) 各種事業の開催

○指定管理者提案事業（自主事業企画委員会による事業の企画・実施）

能舞音楽 義経記	4月15日（日）	650人
女声コーラスかがやきコンサート	4月22日（日）	150人
レディオサイエンス山形縦断ツアー新庄公演	7月22日（日）	150人
みんな集まれ！よしもと爆笑まつり in 新庄	9月12日（水）	700人
第57回村山最北地区高校演劇合同発表会	9月16日（日）	1,000人
出張！なんでも鑑定団 in 新庄	10月8日（月）	1,000人
海援隊トーク&ライブ2018	10月18日（木）	1,000人
陸上自衛隊東北方面音楽隊演奏会 in 新庄	10月21日（日）	1,000人
NHK公開番組収録 民謡魂 ふるさとの唄	11月11日（日）	800人
ベートーヴェン 第九	12月16日（日）	1,000人
モーツァルト歌劇 魔笛	3月17日（日）	600人

○市からの委託事業

小中学校芸術鑑賞教室	6月7日（木） 7月4日（水）、6日（金）	3,650人
------------	--------------------------	--------

○継続事業

第43回サマーコーラスフェスティバル	6月30日（土）	600人
第24回市民演劇祭	9月～11月	800人
第54回新庄市芸術祭	9月～12月	12,000人
第42回最上地区吹奏楽祭	10月13日（土）	800人
第56回市民音楽祭	11月3日（土）	1,500人

## 雪の里情報館

(1) 施設管理

○指定管理者制度の活用

受託者：株式会社東北情報センター（平成27年4月1日～令和2年3月31日）

指定管理料 15,924,000 円

○利用状況

利用者数 16,409 人（前年度 15,752 人 657 人増）

利用料金 593,660 円 (前年度 620,910 円 27,250 円減)

○施設整備

修繕料 4,235,760 円

玄関前駐車場環境整備修繕、空調用冷温水発生機ファン交換修繕等

○雪の里情報館運営協議会の開催 5月16日(水) 出席委員5人

(2) 各種事業の開催

○市民雪セミナー

第94回 4月22日(日) 「JOSANE(ジョサネ)体操」 参加者28人

第95回 6月24日(日) ふるさと探訪シリーズ「津谷の大柳・角川の大杉・幻想の森」  
参加者26人

第96回 10月28日(日) 「自宅で簡単にできる『足腰強化運動』」 参加者31人

第97回 11月18日(日) 「流雪溝の効果的な利用について」 参加者30人

第98回 12月2日(日) ワークショップ しめ飾り作り 参加者52人

第99回 2月3日(日) 「春恋いコンサートVI～みんなでつくるコンサート～」  
参加者62人

○フィールドワーク

夏休み企画「雪の里夏雪体験ツアー」 7月27日(金) 参加者37人

夏休み講座「新庄のお宝を訪ねよう！」 8月10日(金) 参加者12人

雪の講座 1月20日(日) 市内の小学生 参加者延べ31人

○「戦前(昭和12年)の新庄の映像」映写会

5月16日(水)～6月16日(土) 計4回 参加者36人

○「雪国」映写会 10月12日(金) 参加者60人

○雪の里まつり 2月3日(日)

第8回雪ん子俳句展表彰式 演技や作品展示 第99回雪セミナー 参加者約1,000人

○第8回雪ん子俳句展 応募総数541点(最上管内小学校22校)

○雪国ギャラリーの作品展示及び特別企画展

○所蔵書籍 50,042 冊

## わくわく新庄

(1) 施設管理

○指定管理者制度の活用

受託者：株式会社東北情報センター(平成29年4月1日～令和4年3月31日)

指定管理料 16,459,000 円

○利用状況

利用者数 50,130 人(前年度 51,179 人 1,049 人減)

利用料金 3,892,110 円(前年度 3,954,580 円 53,630 円増)

○施設整備

修繕料 8,848,400 円

エレベーター制御部品交換修繕、空調用吸収冷温水発生機分解修繕等

○生涯学習センター運営審議会の開催 5月16日(水) 出席委員8人

## (2) 各種事業の開催

### ○自主事業

新庄歴史さんぽ（七所明神めぐりほか）	10月5日（金）	20人
デジカメ写真教室8	6月9日（土）～7月14日（土）	69人
新庄祭の歴史を知ろう	6月7日（木）	22人
夏休み子ども学習会	7月25日（水）～26日（木）	53人
第21回 わくわく新庄フェスティバル	9月1日（土）、2日（日）	作品展示 14団体 演技発表 17団体 参加者数 4,493人
機織り体験教室	11月9日（金）	6人
デジタル一眼レフカメラ教室	10月10日（水）～11月7日（水）	55人
第19回 わくわく新庄ラージボール卓球大会	10月28日（日）	男女シングルス・ ふれあいダブルス 38人
そば打ち体験教室	12月15日（土）	12人
わくわくギャラリー作品展	通年	一人

### ○共催事業

囲碁教室	4月11日（水）～3月13日（水）	521人
わくわく転ばねじゅー体操教室	5月9日（水）～10月24日（水）	111人
生涯学習講演会	10月20日（土）	30人
第36回金沢町おさいど雪祭り大会	1月26日（土）	約400人

### ○広報事業

季刊広報誌 「わくわく Letter. vol. 16～19」	4. 7. 10. 1月 4回	市内全戸回覧
公式ホームページの運用	通年	

<成果> 生涯学習施設 8 施設中 5 施設について指定管理者制度を導入している。民間の活力による市民サービス向上及びコスト軽減に対する努力に、運営審議会委員や社会教育委員より高い評価を頂いている。老朽化している施設については、計画的な修繕を行い、利用者の安全を第一に、よりよい環境の下で学習できるよう取り組んだ。また、定期的に施設長会議を行い、各施設でのトラブルや課題等を共有することにより、それぞれの施設運営に活かすことができた。

## 8 地区公民館

### (1) 施設管理

#### ○利用者数

菽野地区公民館 12,329人（前年度 13,133人 804人減）

八向地区公民館 2,179人（前年度 2,563人 384人減）



○使用料

萩野地区公民館 185,400 円 (前年度 190,620 円 5,220 円減)

八向地区公民館 49,840 円 (前年度 52,010 円 2,170 円減)

○施設整備

修繕料 2,021,974 円

萩野地区公民館：2F ロビーエアコン修繕、避難口誘導灯光源の交換修繕等

八向地区公民館：玄関柱補強修繕、手摺補修

○公民館運営審議会の開催

萩野地区公民館 5月10日(木) 出席委員6人

八向地区公民館 5月8日(火) 出席委員6人

(2) 各種事業の開催

○萩野地区公民館

萩野地区公民館まつり 9月1日(土)～2日(日) 入場者延べ570人

高齢者を対象とした事業

研修会 7月23日(月) 参加者50人

交流輪投げ大会・敬老会 9月19日(水) 参加者82人

輪投げ大会 3月14日(木) 参加者94人

骨々貯筋体操教室 月2回火曜日 計16回 参加者延べ174人

成人を対象とした事業

初心者料理教室 毎月第3水曜日 計8回 参加者延べ94人

ヨガ教室 毎週木曜日 参加者延べ162人

放課後子ども教室(萩野学園) 5月～2月 原則毎週月・金曜日 57回開催

参加者延べ2,423人

萩野学園読み聞かせサークル「七色の風」 5月～2月

朝読書の時間に絵本の読み聞かせや昔話 1～4年：月2回 5～9年生：月1回

萩野地区ニュースの発行 年3回(6月・10月・3月)発行 萩野地区に全戸配布

○八向地区公民館

八向地区公民館まつり 11月3日(土)～4日(日) 入場者延べ40人

放課後子ども教室 5月～2月 月2回程度 18回開催 参加者延べ238人

高齢者交通安全教室 9月敬老会での啓発活動

グランドゴルフ教室 10月19日(金) 参加者31名

<成果> 地区公民館の事業によって、子どもから高齢者までの地域住民が幅広い活動をすることができ、世代間交流につなげることができた。

## 9 郷土資料収集および出版物頒布事業

出版物頒布料(図書館、ふるさと歴史センター) 125,750 円(39冊)

<成果> 市教育委員会で出版した新庄市史などを頒布し、郷土史等を学びたい方々の要望に応えることができた。

## 10 山大エリアキャンパスもがみ支援事業(フィールドワーク授業)

フィールドワーク授業 6講座 受講者63人

<成果> 新庄市の特色ある6つのプログラムを学生に提供し、指導者である地域住民と大いに交流することができた。また、学生が、交流や大学の講義を通して学生目線から感じたことを新たな提言等としてまとめ、地域の方々に提案することもできた。

## 11 文化財保護

### (1) 国・県指定文化財巡回指導

○国指定（登録）及び県指定文化財を山形県文化財保護指導委員とともに巡回 年7回実施

### (2) 保存整備

○史跡新庄藩主戸沢家墓所（第2号棟）保存修理工事 18,401,040円

○史跡新庄藩主戸沢家墓所（第2号棟）保存修理工事監理業務委託 2,192,400円

<成果> 文化財の保護を行うことで、文化財を地域の宝として次代へ引き継ぐことができた。

## 12 重文旧矢作家住宅管理

### (1) 重要文化財旧矢作家住宅の適正管理及び公開・活用（4月～11月）

一般公開 入場者 991人（県外 564人 県内 427人 前年度 1,174人 183人減）

### (2) 管理委員会の開催

第1回：4月9日（月） 出席委員5人 第2回：11月19日（月） 出席委員7人

<成果> 日常的な適正管理はもとより、みちのく民話まつりの会場とすることにより、国の重要文化財を有効に公開・活用することができた。

## 13 ふるさと歴史センター

### (1) 施設管理

#### ○利用状況

観覧者数 10,892人（前年度 13,591人 2,699人減）

※内無料観覧者 3,646人（前年度 3,559人 87人増）

使用料 2,131,050円（前年度 2,767,920円 636,870円増）

#### ○施設整備

修繕料 406,048円（誘導灯設備修繕、事務室ブラインド修繕、トイレ修繕等）

#### ○収蔵資料現況

考古資料 12,002点 民俗資料 11,972点 歴史資料・古文書 68,761点 書籍 9,968点

その他の資料（絵画・写真等） 1,589点

計 104,298点（30年度は資料整理及び寄贈により、収蔵品数 583点増）

○ふるさと歴史センター運営協議会の開催 5月8日（火） 出席委員9人

### (2) 各種事業の開催

#### ○新庄まつり最優秀山車2台の選考・展示

歌舞伎部門～寿曾我対面（千門町若連）

物語部門～中国清涼山の獅子（落合町若連）

○新庄まつり山車行事顔見世興行（大パネル 3200mm×800mmの設置） 掲示期間 4月～11月

掲示場所 歴史センター東側外壁 計21点（タイトル含む）

○企画展示 年9回開催

○新庄藩校「明倫堂」講座 年6回 受講登録者 50人

○第33回みちのく民話まつり

「夏語り」 7月7日(土) 参加者91人

「秋語り」 10月20日(土) 参加者101人

○山形ふるさと塾形成事業(昔語りこども塾)

北辰・萩野学園・本合海・升形の各学校で事業展開。対象児童：小学1～6年生

発表会～第13回新庄こども語りまつり 2月16日(土) 参加者114人

語り手：児童20人 新庄東高生徒3人

○語りの部屋 毎週日曜日(12月・1月を除く)

開催日数 43日 語り手延べ43人 聞き手延べ274人

<成果> 常設展・企画展などを通して新庄の風習やまつり、文化・芸術の特色を説明できた。

また、歴史講座「新庄藩校・明倫堂」を開催したことにより、市民の郷土史理解への一助となった。

## 14 スポーツ推進審議会の開催

期日：平成30年6月27日(水) 会場：新庄市民プラザ・会議室 出席委員8人

<成果> 市スポーツ振興に係る重点施策等について審議会から意見を聴取し、情報を共有したほか、事業実施に反映させることができた。

## 15 スポーツ指導者の育成及び活用

(1) 新庄市スポーツ推進委員による各種大会・教室への参加・協力及び出前軽スポーツ教室の実施

○県縦断駅伝競走大会監察員 放課後こども教室11回(萩野学園5回、本合海小6回)

(2) スポーツ指導員及び山形県駅伝競走大会新庄・最上チーム選手による小学校等の体育授業(陸上指導及びマラソン記録会の伴走)への協力 10校 28回

<成果> 放課後こども教室の一環としてスポーツ推進委員が、萩野学園・本合海小学校に出向いて軽スポーツ教室を開催し、児童の健康増進と基礎体力の向上に貢献したほか、知的障がい者のスポーツ活動である「スペシャルオリンピックス」の運営に協力し、障がい者スポーツの環境整備に協力した。山形県駅伝競走大会新庄・最上チームの選手を小学校に派遣し、体育の授業や校内のマラソン記録会等を通して運動の基礎である陸上競技の底辺拡大に貢献した。

## 16 次世代育成の取組

運動の基礎である陸上を通して次世代を担う小・中学生の体力向上を目指し、小・中学生への陸上指導とその成果を図るために県ジュニア駅伝競走大会及びクロスカントリー大会に参加した。

(1) 陸上指導

○参加者数：男子：中学生6人 小学生5人 計11人

女子：中学生7人 小学生4人 計11人 合計22人

○指導回数：11回(試走：2回)

○指導者：山形県駅伝競走大会新庄・最上チーム関係者

(2) 第21回山形県ジュニア駅伝競走大会

○主催：山形陸上競技協会・山形県・山形県教育委員会・上山市・上山市教育委員会

○期日：平成30年8月5日(日)

○会場：蔵王坊平周辺

- 参加者：男子チーム 中学生5人 小学生4人 計9人  
女子チーム 中学生5人 小学生4人 計9人 合計 18人
  - 成績：男子チーム第13位/33チーム 女子チーム第12位/30チーム
  - (3) トップアスリートに学ぼう！北都銀行バドミントンクラブ招聘  
バドミントンクリニック&セミナー（一般財団法人地域活性化センター助成事業）  
○主催：バドミントンクリニック&セミナー事業実行委員会  
○期日：平成30年6月30日（土）  
○会場：新庄市体育館  
○ゲスト：北都銀行バドミントンクラブ  
○参加者：最上管内小中学生・高校生210人 大人17人 合計227人
- <成果> 国内外で活躍するトップアスリートを招聘し、小学生から高校生、指導者までの幅広い対象において、バドミントン競技の競技力向上と競技人口の拡大につなげることができた。中学生においては県中学校総合体育大会、高校生においては県高等学校総合体育大会前の有効な実践練習の機会となった。2020東京オリンピックパラリンピック大会開催に係るホストタウンの取組みのための機運づくりや地域活性化の一助とすることができた。

## 17 競技スポーツの推進

- (1) 一般財団法人新庄市体育協会補助事業  
一般財団法人新庄市体育協会の事業運営に対し補助した。 補助金 10,692,000円
- (2) 新庄市総合体育大会  
一般財団法人新庄市体育協会へ事業の開催を委託した。（14種目） 委託料 848,000円  
○会期：平成30年8月～平成31年2月  
○参加者：選手 1,579人
- (3) 新庄市体育表彰  
スポーツの振興に顕著な功績があった者及び各種競技大会において優秀な成績を収めた者に対して表彰した。  
○日時：平成31年2月16日（土）  
○場所：新庄市民プラザ・大ホール  
○新庄市表彰 53個人 団体7団体  
あじさい表彰 個人1人  
感謝状 該当なし  
奨励賞 個人52人 団体7団体  
○新庄市体育協会表彰 83個人 7団体  
スポーツ振興功労賞 個人2人  
優秀指導者賞 個人2人  
感謝状 個人2人  
殊勲賞 個人38人 団体6団体  
飛翔賞 個人39人 団体1団体
- (4) 新庄市運動競技大会出場選手奨励事業  
全国大会に出場した選手、監督またはコーチ等に奨励金を支給した。  
○奨励金支給実績 45個人2団体 奨励金 650,000円

<成果> 市のスポーツ振興の一翼を担う新庄市体育協会への活動助成等を行うことにより、スポーツ振興におけるソフト面を充実することができた。また、山形県大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手及び指導者を広く顕彰し、全国大会の出場者に奨励金を交付することにより、競技者の意欲向上、さらには競技力の向上へつながった。

## 18 各種スポーツ大会の開催

市民の競技力向上や体力づくり・仲間づくりを目的とし、関係団体と連携して次の各種スポーツ大会を開催した。

### (1) 第26回新庄市スポーツ・レクリエーション祭

○主催：新庄市・新庄市教育委員会・新庄市レクリエーション協会

○期日：平成30年9月1日（土）～2日（日）・9日（日）

○会場：新庄市体育館・新庄市民プラザ・最上中央公園等

○参加者：9種目 378人（ラージボール卓球 36人 バウンドテニス 13人 グラウンドゴルフ 45人 健康体操 157人 社交ダンス 28人 ペタンク 22人 ターゲットバードゴルフ 20人 パークゴルフ 38人 民踊 19人）

### (2) 第24回市民ゴルフ大会

○主催：新庄市民ゴルフ大会実行委員会

○期日：平成30年9月23日（日）

○会場：新庄アーデンゴルフ倶楽部

○参加者：74名

### (3) 第2回新庄いものこハーフマラソン大会

○主催：新庄ハーフマラソン大会実行委員会

○期日：平成30年10月28日（日）

○会場：陸上競技場スタート～市内北東部（萩野方面）～陸上競技場

○参加者：ハーフの部 223人/申込 262人 10kmの部 145人/申込 163人 5kmの部 81人/申込 90人、3kmの部 36人/申込 42人 1kmの部 137人/申込 146人 ウォーキングの部 61人/申込 61人 ファミリーの部 33組・66名/申込 35組・70名

### (4) 第26回クリテリウム新庄大会

○主催：山形県自転車競技連盟・新庄地区自転車競技連盟

○共催：新庄市教育委員会・一般財団法人新庄市体育協会

○期日：平成30年10月8日（月・祝）

○会場：新庄中核工業団地周回コース

○参加者：一般・大学 81人/申込 87人 高校 14人/申込 15人 小・中学生 14人/申込 14人

<成果> 子どもから高齢者まで、多くの市民が参加できるような各種スポーツ大会を開催することによって身体を動かす機会が増え、市民の体力向上につながった。また、風景や味覚など地域の魅力を発信し、参加者の交流を通じた街中の賑わいをもって観光振興と地域の活性化につなげることができた。

## 19 市民体力テストの実施

文部科学省からの成人の「体力・運動能力調査」に基づいて、サンプル調査をかむてんスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）へ委託して実施した。

○対象者：65歳～75歳以上

○期日：6月17日（日） 10月2日（火） 10月14日（日）

○参加人数：男子27人 女子59人 計78人

<成果> 県からの調査依頼に応じ、スポーツ推進委員との連携により体力・運動能力調査を実施し、調査データを収集することができた。また、市民が自分の体力の現状を把握できる機会を定期的に設けることができた。

## 20 市民サービスデーの設定

市民スキー場無料開放日（利用者計660人）

○平成31年1月12日（スキーの日） 小・中学生 12:00～21:00 90人

2月11日（市総体スキー競技） 利用者全員 9:00～21:00 570人

<成果> 市民スキー場について無料開放日を設定し、季節的に限定されるスポーツの楽しさを実感してもらう機会を与えることができた。

## 21 駅伝強化対策事業

山形県駅伝競走大会「新庄・最上チーム」の実行委員会事務局として、第8期強化対策事業（平成30年度まで）として強化選手2名を配置し、チームの競技力向上を図った。

○強化選手：北村航太（新庄市教育委員会／平成30年度）

寄木康弘（最上町教育委員会／平成30年度）

(1) 第63回山形県縦断駅伝競走大会

○主催：山形陸協・山形県体協・山形県教委・山新・13市・13市教委

○期日：平成30年4月27日（金）～29日（日）

○成績：新庄・最上チーム 総合第10位

(2) 第35回山形県女子駅伝競走大会

○主催：山形県陸協・山新

○期日：平成30年11月18日（日）

○成績：新庄・最上チーム 総合第11位

(3) 第60回山新杯ベーダー駅伝競走大会

○主催：米沢市陸協・米沢市教委・山新

○期日：平成30年11月23日（金・祝）

○成績：新庄・最上チーム（A）第1位 （B）第7位

<成果> 山形県縦断駅伝競走大会は、11チーム中総合10位と前年度より順位を2つ下げた。山形県女子駅伝競走大会は、11チーム中総合第11位と最下位となった。男女チームとも、積極的な練習に加え、各種主要大会や記録会に出場し、上位入賞を目指して2チームで臨んだ山新杯ベーダー駅伝においては、Aチームが13チーム中1位となるものの、安定した成績につなげることができなかった。

## 22 総合型地域スポーツクラブ運営支援事業

かむてんスポーツクラブ（平成27年度名称変更）に次のような支援を行った。

(1) かむてんスポーツクラブの会員数

○【健康コース】及び【親子コース】会員数283人（男78人 女205人）

○【短期教室】17人（男4人 女13人）

○総合計300人（男82人 女218人）※短期教室は会員以外も含む。

(2) 総合型地域スポーツクラブの啓発

○クラブ会員募集リーフレット及び活動報告書の全戸回覧（年1回）

(3) 体育施設利用料金の免除

(4) クラブアドバイザーの活用（県広域スポーツセンター、県体育協会）

<成果> 市民の誰もが気楽に楽しめるスポーツ活動ができる環境づくりとして、総合型地域スポーツクラブへの支援事業を実施している。子どもから高齢者までスポーツに親しむことができ、生涯スポーツの振興と市民の健康増進に貢献することができた。また、クラブアドバイザーの活用により、クラブの育成と公益性・収益性を高める支援の機会を設けることができた。

## 23 ホストタウン推進事業

2020 東京オリンピックパラリンピック大会の開催に伴い、相手国台湾との人的・経済的・文化的な相互交流を図るホストタウン事業を推進させるため、競技団体との交渉や関係者への訪問、相手国関係との会議へ出席した。

(1) 台湾バドミントン協会との交渉

○期日：平成30年12月19日（水）～20日（木）、平成31年2月27日（水）

(2) 台北駐日経済文化代表処への訪問

○期日：平成31年1月22日（火）

(3) 台湾オリンピック委員会との連携会議への出席

○期日：平成31年3月22日（金）

<成果> 2020 東京オリンピックパラリンピック大会の開催に係り、スポーツの祭典を国の中央のみが共有するのではなく、地方にも遺産として残すことができるよう、ホストタウンの登録制度を活用し、具体的な事業推進のための環境整備を行うことができた。

## 24 体育施設の管理運営

(1) 指定管理者制度の活用

○体育館外9施設

受託者：（一財）新庄市体育協会（平成28年4月1日～令和3年3月31日）

指定管理料 63,001,000 円（利用料金制）

○市民スキー場

受託者：（一財）新庄市体育協会（平成28年4月1日～令和3年3月31日）

指定管理料 27,352,000 円（利用料金制）

○山屋セミナーハウス

受託者：山屋有志会（平成27年4月1日～令和2年3月31日）

指定管理料 10,771,000 円（利用料金制）

(2) 体育施設巡回点検

○定期巡回及び緊急点検の実施。

## (3) 体育施設の維持管理（修繕等の状況）

## ○修繕料

施設名	修繕名	金額(円)
市民プール	ウォータースライダー鉄骨塗装修繕	1,987,200
市民球場	新庄市民球場機械室井戸水用ポンプ修繕	216,000
	市民球場スタンド雨漏り関連内装修繕	1,080,000
体育館	市体育施設除雪用トラクターギア修繕	198,482
	市体育施設除雪用トラクタータイヤ交換修繕	256,980
	市体育施設除雪用トラクター不良箇所修繕	249,178
福田運動	福田山運動公園排水管敷設替え修繕	148,910
	福田緑地高圧ケーブル等更新修繕	270,000
陸上競技場	陸上競技場外周フェンス修繕	140,400
	陸上競技場フラッグポール修繕	259,200
	陸上競技場散水スプリンクラー修繕	399,600
	陸上競技場水道管止水栓修繕	78,300
武道館	武道館入口階段修繕	356,400
市民スキー場	市民スキー場照明灯安定器交換修繕	1,198,800
	市民スキー場キュービクル非常用電源装置修繕	399,600
	市民スキー場リフト降り場床張替修繕	2,727,000
	市民スキー場事務所暖房機交換修繕	146,340
	市民スキー場圧雪車スノーミルシリンダー交換修繕	691,956
山屋セミナーハウス	山屋セミナーハウスガス給湯器交換修繕	118,800
	山屋セミナーハウス火災報知器修繕	75,600
	山屋セミナーハウス灯油配管漏れ修繕	437,400
	山屋セミナーハウスガスレンジ等交換修繕	290,520
	山屋セミナーハウス玄関引き戸修繕	100,000
	山屋セミナーハウス灯油配管替え修繕	1,706,400
計	24件	13,533,066

## ○工事請負費

施設名	工事名	金額(円)
市民球場	市民球場ラバーフェンス改修工事	12,307,680
山屋セミナーハウス	山屋セミナーハウスバリアフリー化工事	5,999,400
計	2件	18,307,080



## (4) 体育施設の利用者数及び利用料金

## ○利用者数

(単位：人)

施設名	団 体				個 人		利用者 数合計	前年度 (増減)
	団体数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)		
体育館	1,568	1,483 (85)	34,936	44,891 (△ 9,955)	2,083	1,577 (506)	37,019	46,468 (△9,449)
武道館	1,046	985 (61)	12,800	12,646 (154)			12,800	12,646 (154)
市民球場	2,610	2,066 (544)	27,006	24,481 (2,525)			27,006	24,481 (2,525)
福田 グラウンド	106	96 (10)	3,789	4,084 (△295)			3,789	4,084 (△295)
福田テニス コート	3	6 (△3)	600	936 (△336)	69	61 (8)	669	997 (△328)
横根山 運動広場	19	21 (△2)	304	393 (△89)			304	393 (△89)
陸上競技場	908	734 (174)	10,648	10,469 (179)	1,284	365 (919)	11,932	10,834 (1,098)
市テニス コート	1,470	1,370 (100)	13,914	15,050 (△1,136)	2,018	1,708 (310)	15,932	16,758 (△826)
市民プール	24	27 (△3)	728	746 (△18)	3,987	3,006 (981)	4,715	3,752 (963)
市民 スキー場					9,930	9,857 (73)	9,930	9,857 (73)
山屋セミナ ーハウス	598	563 (35)	11,932	11,949 (△17)			11,932	11,949 (△17)
計	8,352	7,351 (1,001)	116,657	125,645 (△8,988)	19,371	16,574 (2,797)	136,028	142,219 (△6,191)

## ○利用料金

(単位：円)

施 設 名	利用料金	前年度	増減
体育館	3,367,475	3,493,015	△125,540
武道館	1,207,470	1,228,940	△21,470
市民球場	2,371,400	2,599,040	△227,640
福田グラウンド	374,180	267,150	107,030
福田テニスコート	10,800	11,200	△400
横根山運動広場	17,000	13,600	3,400
陸上競技場	401,930	330,315	71,615

市テニスコート	2,068,500	2,063,700	4,800
市民プール	586,500	444,410	142,090
市民スキー場	4,084,200	4,360,750	△276,550
山屋セミナーハウス	1,764,355	1,734,615	29,740
計	16,253,810	16,546,735	△292,925

＜成果＞ 日々の管理・運営業務における調整や指定管理者連絡会議等を通し、指定管理者との情報共有や連携を深め、施設の安全性・利便性・快適性の向上に努めた。また、老朽化した施設については、計画的・効果的、かつ緊急時には柔軟に修繕等の対応を図ることができた。